

美術科

教科の重点目標 制作することの喜びを感じながら主体的に学習に取り組む態度を育み、創造的・発想の能力の向上を目指す。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第二学年	<p>◎考える力を伸ばす観点 第二学年では、「豊かな発想力」と「考え、工夫する力」を育てていくために、デザイン的な分野、並びに工芸的な分野を中心に課題設定をおこなった。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる観点 材料の特性を生かした作品を制作するためにどのような工夫をしたら良いか、また、限られた条件の中でどうすればより使いやすい作品が出来るのか、など創造的な力や発想力を伸ばすための課題設定を中心に学習計画を設定した。 あわせて工具や道具を使用する機会も多くあるので、その使用方法についても学習していきたい。</p>	<p>絵画の分野から「クロッキー」を行い、豊かな発想力や描きたいものをすぐに表現できる力を伸ばしていく。</p> <p>工芸的な分野の「木彫で作るはがき箱」では、木材を使っての制作を行い、木の持つ温かさと色合いを生かした作品制作を行い、更により使いやすいものとするための工夫をすることも大きな目標とした。</p> <p>また日本の伝統的な文様を学び、作品作りに生かしていく。</p> <p>また、鑑賞の分野では、西洋の美術の歴史について学び、インターネットを使用した調べ学習を行う。</p>	<p>見る力、描写する力、考える力を伸ばすため、各学年共にクロッキーの課題を設定し、表現力及び発想力の向上につなげていきたい。授業の始めの導入として取り組み、繰り返し行うことで描く力を向上させたい。</p> <p>題材は自分の暮らしのまわりのものとし、自分の手やバケツ、上履きなど身近なものを描き、身近なものを描く楽しさや、発想・表現力の向上につなげていきたい。</p> <p>木彫では、様々な彫り方を学ぶとともに、日本の伝統的な模様を学び自分の作品に生かしていく。</p> <p>鑑賞の分野では、西洋の特にルネッサンス期の作品に着目し鑑賞を行う。時代背景やそれ前後の美術品を鑑賞し、美術の歴史を理解させる。</p>	